

HIVI

ハイヴィー—AUDIO V MAGAZINE 2017

6



ブルーレイなら劇場を超えられる
『ローグ・ワン
スター・ウォーズ・ストーリー』

今こそ、最後のCDプレーヤー選び
有機ELテレビ最速レビュー ソニー&パナソニック

2 CREEK Evolution 100CD

¥290,000+税



SPEC



●再生可能ディスク
CD

●接続端子

アナログ音声出力2系統 (RCA、XLR)、デジタル音声出力2系統 (同軸、光)、
デジタル音声入力5系統 (同軸×2、光×2、USBタイプB)、
ヘッドホン出力1系統 (6.3mm標準フォン)

●対応サンプリング周波数/量子化ビット数
~192kHz/24ビット (PCM)

●消費電力
20W

●寸法/質量
W430×H60×D280mm/5.5kg

●問合せ先
(株) ハイ・ファイ・ジャパン ☎03(3288)5231



PROFILE



「ローコスト・ハイパフォーマンス」を身上とする英国クリークのCDプレーヤー。同社では本機を「単なるCDプレーヤーではなく、ハイエンドDACである」としており、USB DAC機能を含むデジタルプリアンプとしての運用を想定している。そのため、ボリュームコントロール機能を持ち、パワーアンプと直接接続してシステムを構築することもできる。Bluetoothレシーバー機能やヘッドホン出力を備えることも独自の特徴だ。CDドライブはスロットローディングタイプ



ひとことで言うと、とても楽しい音 昔の高級CDプレーヤーを思い出しました ——和田

—— 続いて2モデル目は、英国クリークのEVOLUTION 100CDです。

和田 ひとことで言うところ、とても楽しい音でしたね。喩えとして適切かどうかかわからないけど、ちょっと昔の高級CDプレーヤーの音を思い出しました。

土方 それはよくも悪くも、という意味合いですか？

和田 いや、いい意味で懐かしさを感じさせてくれて、僕は好きな音です。音に汚れた感じ、ザラついた感じがなくて、帯域バランスを上手に再現しています。先ほどのデノンDCCD2500NEは、CDの再生周波数特性が2Hzから20kHz。このモデルは公表されていないけれど、当然ながらほぼ同じでしょう。しかし聴感上では2500NEの方が帯域が広く、こちらはナローレンジながら上手にまとめているという印象だったんです。キャラクターはぜひ異なる。ポップスやロックはこっちの音が好き、という人がけっこういるかもしれない。

土方 そうですね。凝縮感のある音で、えも言われぬ親近感を覚えます。

和田 井筒香奈江さんの「氷の世界」では、手を伸ばせば触れられそうな実在感ではなく、温

度感が高めで親しみのある音像再現を優先して聴かせてくれる。情報量やトランスアレンシー、

解像力という意味では、最新のデジタル録音を十全に再現しているというわけではないんです。

たとえば「Hodie」のクリスマス・ソング集のようにワンポイントステレオ録音による位相の揃った音源を聴くと、天井の高い教会の響きに包まれて自分の魂まで天国に引き上げられるような恍惚感は、2500NEほど再現されない。それでも「ああ、いい音楽だなあ」としみじみ思えるんですね。

土方 ああ、そこはもう、完全に同意見です（笑）。

和田 USB接続でヒラリー・ハーンのハイレゾファイルも聴きました。僕は自宅のコードDAVEを中心としたシステムでこのアルバムをよく聴くのですが、その時には見晴らしのいい透明感のある音場が印象的なんです。今聴いた音はそれとは違う音でしたが、価格差を踏まえても全然悪くない。前者がいかにファッションモデル体型のお姉さんのような、スラッとした印象だとすると、後者は親しみがあつて可愛いらしい隣のお姉さん、かな。誤解のないように言っておくけど、これは

褒め言葉です（笑）。とにかく嫌味のない音だと思う。

土方 なるほど（笑）。音色もサウンドステージも、スカッと晴れた青空のように気持ちがいいと思いました。井筒さんの「氷の世界」ではベースを弾く音、ミシェル・ンデゲオチェロの「ALFALA Q113」ではシンバルヒットが、どちらも鋭いだけでなく音楽的に好ましく感じられるところがあったと思います。

和田 シンバルの厚みなんかは2500NEの方があるんだけど、こちらのEVOLUTION 100CDも聴き応えのある音だよな。

土方 そうなんです。刺激的なだけでなく、音楽の一部としてちゃんと機能している。

和田 スティングのアルバムあたりは、このモデルの方が「ロックを聴いてる」という感じにさせてくれたと思います。

土方 そうですね。いわゆるガッツのある音というイメージで、聴いていて楽しかったです。

—— このモデルはポリウム調整、つまりブリアンプとしての機能が付いているので、パワーアンプへのダイレクト接続でも鳴らしてみました。

土方 井筒さんのセンター定位

REAR PANEL



↑USBタイプBからの入力、最大192kHz/24ビットのリニアPCM信号に対応。DACチップにはシーラスロジック社のWM8742を2基使用している

の生々しさと押し出し感が如実にアップしたので、個人的にはこの接続もかなり好みでした。こういった機能を持つモデルでダイレクトな印象になるだけでコクが目減りしてしまうようなことがあると思いますが、このモデルに関してはそういったこともなく、音楽的に楽しめました。